KOBE AWAY PRESS

We aim to provide a pleasure of watching away game, dreaming the spectacle of away crowd covered in crimson red.

Free!! #71 決闘!彩の国号 2023.11.12 Kick Off

私達にはアウェイ戦のゴール裏をクリムゾンレッドで埋め尽くすという夢があります。一人でも多くのヴィッセル神戸サポーターにアウェイ観戦の楽しさを届けたい。KOBE AWAY PRESSはこうした思いから生まれた情報紙です。KOBE AWAY PRESSは関東サポーター有志により自主的に制作されています。

31節終了時点で喫した敗北は5つ。惜しい試合もあれば自滅した試合もあった。その中で唯一力負けしたと感じたのがホーム浦和戦。ショルツ、ホイブラーテンの鉄壁CBに大迫が完全に抑えられてしまった。その守備力は今なお健在で失点数は22。リーグNo.1の数値である。その次に少ないのが27の神戸。今節もロースコアが予想される。

神戸の攻撃はいつも通り一旦大迫に預けてから縦に速い形になるだろうが、それだと前回の二の舞になりかねない。ならば鹿島戦のように大迫を囮にし佐々木や井手がサイドで起点となる形が有効になりそうだ。ショルツ、ホイブラーテンは高さ、強さだけでなく守備範囲も広いが左右の揺さぶりには若干の脆さを感じるので絶好調の2人に期待したい。

守備に関してはホセカンテの超絶個人技以外は今の神戸守備陣なら抑えれるはず。もちろん油断は禁物だがそれくらい守備は充実している。

Jリーグ加盟から27年、神戸は常に残留争いに巻き込まれ、2度の降格も経験した。シーズン前半は調子良くても気が付けば最終順位は二桁。これの繰り返しだった。そんな神戸がいよいよ、いよいよJ1の頂に辿り着こうとしている。もう勝ち点は一つも落とせない。我々サポーターも120%の力を振り絞って選手達を後押ししよう。そしてホームで歓喜を....

5 lost in 31 matches so far, some were so close and some were totally our self failure. Except one game which definitely our team was inferior to, "Urawa Reds" in Kobe.

Their CB Scholz and Høibråten completely held Osako. Their defense ability is still very high to lose only 22 goals which is the least in J1 league. But Vissel follows at next with 27 lost goals. This game also could be finish with low scores.

Vissel will attack forward speedily through Osako as usual but this could repeat last lost game. Then, we can expect Sasaki and Ide (on a roll!) to initiate drives from the sidelines using Osako's decoy play. Scholz and Høibråten have strong physical and wide range of defense but may not enough for swing.

Vissel's defenders must be having enough strong to hold a team except Jose Kanté's super individual technique.

It's been 27 years since Vissel joined J league. Regularly struggling in relegation zone and experienced 2 times demotion. Even doing well in the first half of the season, finishing in low ranking at last. It was Vissel....

BUT such a team is now almost there to achieve top of the league. NO lost point is allowed anymore. Let's cheer and support with all we've got! For the delight in Kobe!!

神戸讃歌

俺達のこの街に　お前が生まれたあの日
どんなことがあっても　忘れはしない

共に傷つき　共に立ち上がり
これからもずっと　歩んでゆこう

美しき港町　俺達は守りたい
命ある限り　神戸を愛したい

オオオーオ オオオオオー…

KOBE AWAY MARCH

どこまでも行こうぜ　勝利を信じて
熱き友の想い　胸に宿して
行こう　勝利へ
トモニ戦え ラーララ ラララララ！
歌声響かせろ(KOBE!)　遠く神戸まで(KOBE!)
さぁみんなで帰ろう 神戸に帰ろう
勝利この手に！

2023年度日程

節		日時	会場	勝敗・得点	節	対戦相手	日時	会場	勝敗・得点
15	FC東京	5月27日(土) 14:00	H ノエスタ	○ 3-2	23	川崎フロンターレ	8月12日(土) 19:00	A 等々力	○ 1-0
フレンドリーマッチ	バルセロナ	6月 6日(火) 19:00	H 国立	● 0-2	24	柏レイソル	8月19日(土) 19:00	H ノエスタ	△ 1-1
17	セレッソ大阪	6月10日(土) 19:00	H ノエスタ	● 0-2	25	FC東京	8月26日(土) 19:00	A 国立	△ 2-2
天皇杯2	長野パルセイロ	6月14日(水) 19:00	H ノエスタ	○ 3-1	天皇杯準々決勝	ロアッソ熊本	8月30日(水) 19:00	A えがおS	● 1-1 PK4-3
Jクラシック6	横浜FC	6月18日(日) 18:00	H ノエスタ	● 1-3	26	京都サンガＦＣ	9月 3日(日) 19:00	H ノエスタ	○ 2-1
18	アビスパ福岡	6月25日(日) 19:00	A ベススタ	○ 0-3	27	サンフレッチェ広島	9月16日(土) 19:30	A Eスタ	● 2-0
19	コンサドーレ札幌	7月 1日(土) 19:00	H ノエスタ	△ 1-1	28	セレッソ大阪	9月23日(土) 19:00	H ノエスタ	○ 1-0
20	アルビレックス新潟	7月 7日(金) 19:00	A デンカS	○ 0-1	29	横浜Fマリノス	9月29日(金) 19:00	A 日産ス	○ 0-2
天皇杯3	ジュビロ磐田	7月 9日(日) 14:00	A ヤマハ	○ 5-2	30	鹿島アントラーズ	10月21日(土) 14:00	H ノエスタ	○ 3-1
21	サガン鳥栖	7月16日(日) 16:00	H ノエスタ	○ 2-1	31	湘南ベルマーレ	10月28日(土) 14:00	A レモンS	△ 1-1
16	川崎フロンターレ	7月22日(土) 19:00	H ノエスタ	△ 1-1	32	浦和レッズ	11月12日(日) 14:00	A 埼玉	○ -
天皇杯ラウンド16	ヴァンフォーレ甲府	8月 2日(水) 19:00	A JITス	○ 1-4	33	名古屋グランパス	11月25日(土) 14:00	H ノエスタ	○ -
22	横浜FC	8月 6日(日) 18:30	A ニッパツ	● 0-2	34	ガンバ大阪	12月 3日(日) 14:00	A パナスタ	○ -

埼スタで再び歓喜を

今から13年前、神戸は降格の危機に瀕していた。最終節を残して順位は16位。残留するには勝利は絶対、尚且つ15位東京が引き分け以下というまさに崖っぷちだった。(2010年は16位も自動降格)　最終節は埼スタでの浦和戦。当時の浦和は決して調子の良いチームではなかったがタレント豊富な強豪だった。しかし当時の神戸からは「やれる」空気が漂っていた。あの時のチームは選手、スタッフ、フロント、サポーターがまさしく『一致団結』していた。
当時のチームを引っ張っていたのは現監督の吉田孝行、現コーチの北本久仁衛だった。特に吉田はシーズン終盤になりゴールを量産していた。そして運命の浦和戦でも前半に先制ゴール、後半開始早々にもPKを決め2得点。守備も北本を中心に最後まで集中を切らさず終わってみれば4-0の圧勝。更に東京が既に降格が決まっていた京都に敗戦。奇跡の残留が達成され、埼スタの一角は歓喜に包まれた。おそらく初めて本当の意味で神戸が一つになった瞬間だった。
改めて一致団結を辞書で調べると「たくさんの人の心が一つになり、協力しあうこと」と記してある。言葉にするのは簡単だが、これがなかなか難しい。神戸が本当に一致団結したのはおそらく2回。2010年33節以降と2019年天皇杯準決勝以降の2回だけじゃないだろうか。(2006年入替戦はホーム、アウェイ共に満員じゃなかったので個人的には除外)　逆に同じく降格危機だった2012年は最後まで纏まりきれず気が付いたら降格。当コラムを執筆していて改めて重要なことなんだと実感した。
そして2023年、神戸はJ1リーグの優勝争いを繰り広げている。今の神戸にはあの時と同じような空気が漂っている。上手く言葉に出来ないが、神戸に関わる全ての人が復活に向けて必死に頑張っている斉藤未月に、そしてチームが苦しいときにいつも立ち上がってくれた吉田監督に「コレ」を掲げてもらいたいと思っているのではないだろうか。
一致団結した時の神戸は強い。でも油断は禁物。今日しっかり勝ってホームで歓喜の歌声を轟かせよう。

残念ながら、僕たちが愛しているチームは決して常勝ではなかったし、余計なお世話なのだが他チームから揶揄されるほどにはネタクラブとして君臨し続けてきた。
そんなチームが残り3試合となったシーズン終盤に優勝争いの主役となっている。森保一の言葉を借りると「まだ見たことのない景色」がすぐ目の前まで迫っている。ここで、地に足付けてしっかりと勝ち切るために戦うことが再びできるかで未来は変わってくる。若い選手とベテランが絶妙なバランスを生み出している今のヴィッセルにはそのような戦いができるだけの勢いと自力の双方が備わっていると信じている。
前節は悔しい引き分けに終わり、2位の姿がまたもやチラつきだしてしまったが、負け試合や引き分け試合をダラダラと引きずる時間はもうない。目の前の試合を勝つために戦うしかない。僕たちはその戦いの後押しをするだけだ。今シーズン、最後の関東アウェイゲームにお集まりのサポーターの皆様、目の前の試合を楽しみましょう!そして、精一杯の愛情を込めて声援を送りましょう!

Hold my head up everywhere!!

Facebook
http://www.facebook.com/kobeap
Blog http://kobeap.net/
Twitter @kobeap

KOBE AWAY PRSS編集部では、**試合展望やコラムを書いて頂ける方、写真提供できる方を大募集中**です。少しでもご興味持っていただけましたら、配布している編集部員に直接お声がけいただくか、Facebook/Twitterにてご連絡ください。よろしくお願いします。

トップチーム

1	GK	前川 黛也	28	GK	坪井 湧也	32	GK	廣永 遼太郎	40	GK	フェリペ メギオラーロ	3	DF	マテウス トゥーレル
15	DF	本多 勇喜	17	DF	菊池 流帆	19	DF	初瀬 亮	23	DF	山川 哲史	24	DF	酒井 高徳
25	DF	大﨑 玲央	34	DF	尾崎 優成	41	DF	高橋 祥平	2	MF	飯野 七聖	5	MF	山口 蛍
6	MF	バーリント ヴェーチェイ	14	MF	汰木 康也	16	MF	齊藤 未月	18	MF	井出 遥也	20	MF	新井 瑞希
22	MF	佐々木 大樹	31	MF	中坂 勇哉	33	MF	扇原 貴宏	36	MF	安達 秀都	38	MF	浦 十藏
44	MF	日髙 光揮	64	MF	フアン マタ	10	FW	大迫 勇也	11	FW	武藤 嘉紀	21	FW	川﨑 修平
26	FW	ジェアン パトリッキ	29	FW	リンコン									

KOBE AWAY PRESSからのご協力のお願い

KOBE AWAY PRESSを他のお友達にすすめたいという方や
自分のお店において配ってもいいよという方は大歓迎です。
一人でも多くのサポーターを誘ってアウェイゴール裏に駆けつけましょう!

KOBE AWAY PRESSのPDF版ダウンロード、および
KOBE AWAY PRESSに関するお問い合わせは、以下のURLにアクセスしてください。

KOBE AWAY PRESSPDF版ダウンロード
http://kobeap.net/　発行:KOBE AWAY PRESS編集部
Facebook　http://www.facebook.com/kobeap
Twitter　@kobeap　(https://twitter.com/kobeap)

このKOBE AWAY PRESSをSNS等でシェアしてください!

編集後記

埼スタというとやはり、「あの日」を思い出してしまいます。今回、号名を「あの日」と同じ「決闘!彩の国」号としました。13年前のあの日、歓喜の埼スタで掴み取ったのは「頂点に挑むための前提条件」。今回、掴み取るのは「頂点」です。
正直、13年前の自分に、今日の状況を説明しても理解してもらえないのじゃないかという気がしますが、今まさに頂点は目の前に、そして、他チームがどうであれ、自力で掴み取れる状況にあります。
残り3戦。ありったけの思いを込めて、全力で選手を後押ししましょう。油断せず、王者らしく。全力の歌声と拍手で(な)

アウェイゲームの写真提供してくださる方を募集しています。提供してくださる方は各SNSのDMにご連絡くださ